

みらいだより

令和5年3月1日



やわらかな日差しと、春の息吹が感じられるようになりました。

大きくなった子どもたちを目の前にして、この1年間にあった、いろいろなことが思い出されます。自ら挑戦し、できるまで何度でもあきらめない子どもたちは、自分で自分のことが決められるようになり、仲間への思いやりが育っています。そんな一人一人の子どもの思いを受け入れ、信頼し見守るということを保育士一同心がけてきました。

今月は、進級そして卒園・入学という節目を迎えて、新しい生活への希望と自信を持ちながら園生活をおくることができるようにしたいと考えています。

3月		
日	曜	行事予定
3	金	ひなまつり会
4	土	弁当日
11	土	新入園児説明会
13	月	身体測定(どんぐり・たけのこ・ひかり)
14	火	身体測定(りす・うさぎ・そら)
15	水	お別れ会
18	土	・第8回卒園式 ・弁当日
20	月	こどものとも絵本のおはなし会 (うさぎ・そら・ひかり)

※変更の場合あり

※3月・5月の弁当日は、第1、3土曜日です。

よろしく願います。



3月18日(土) 第8回 卒園式

ひかり組20名を送り出します。一人一人の子どもが、自分の成長を誇りに思えるような卒園式にしたいと考えています。

対話から学ぶ“節分”（ひかり組）

「鬼になる人、福の神になる人、豆をまく人に分かれる?」「鬼のお面や服を作る準備をしよう」「いわしは、そら組に買ってきてもらおう」「ひいらぎは、うさぎ組に探して採ってきてもらおう」「小さい子は怖がるから、鬼は部屋に入らんようにしよう」などと、一人ひとりの子どもが節分への思いを持っています。企画する子どもたち同士で「対話」する場面が多くみられます。ことばで理解し合えたり、思いの違いを受け入れられるようになっています。



★たけのこ組(1歳児)の子どもたちから、ガラス戸越しに豆を投げられ「参った!!」

「リズム会、頑張ったね」

“緊張して出られなかった。” “いつもの姿を発揮できなかった。” という体験は子どもにとって大きいものです。「リズム頑張ったね」「かめのリズムに出て、かっこよかったよ」「ホールに出てきただけでも頑張ったね」「たくさんの人に緊張したんだね」とお家の人からたくさん聞きました。「できる」「できない」だけの判断ではなく、子どもの気持ちに寄り添い、「頑張った」「緊張したね」と思いに共感してもらうことで、失敗にくじけず、チャレンジ精神を発揮する子どもになります。

◆親、保育者として評価を手放し、支援者、共感してあげられる人、一緒に伸びていく人でありたいものです。



どんぐり(0歳児) 「おてつだい」

給食のお手伝いをする中で、トマトが苦手な子も意欲的に食べていました。トマトのへたを取る「経験」が食べる意欲につながっています。へたを取る活動を通して五感でトマトを感じることができると、安心して「食べられる」という気持ちがつくられます。

たけのこ(1歳児) 「駐車場、作ってるの」

友だちが駐車場を作っている様子を見ながら、「ぼくも、ここに駐車したい」と車を持ってきて遊びに参加します。「ここに、車入れていいよ」「うい〜ん、はいります」「あっ、たおれちゃった」「ばたん、しまりました」友だちとお話ししながら、遊びが広がっていきます。



りす(2歳児) 「たかあしがに、おるかな」

大好きな海の生き物のカードゲームの「たかあしがに おるかね」と図鑑を開き、興味津々に探します。「こめつきがにもおる」次々に海の生き物を見つけていきます。興味関心から、どんどん知識を広げています。子どもが夢中になる時「遊び」は豊かな「学び」になります。

うさぎ(3歳児) 「ばれないように」

「鬼が入って来れんように、お家みたいにしよう」「ここに隠れよう！」「電気も消す？ばれんように！」「鬼が来たら豆いっぱい投げる！」「硬い豆の準備できたよ」鬼にばれない方法をみんなで考え、鬼がきたら硬い豆を投げる準備を進めていました！みんなで力を合わせて鬼を追い払いました。



そら(4歳児) 「命をいただく」

サバの三枚おろしを給食先生に見せてもらいました。切り身になっていない魚を前に「触ってみたい！」「あ、ツルツルしてる」「これ、死んでるんよね」「こんなに血が出るん？」と感じたことを伝え合っていました。命をいただいて大きくなっていくことに、気づき始めているようです。

ひかり(5歳児) 「真っ白じゃね〜」

「あとどれくらいで着く？」「あ！白いよ！」「雪あるね！！」「早く遊びたい！」と到着するまでワクワク。着いたら「真っ白じゃね〜！」「滑っていい？」「行くよー！」と雪の中へ。しばらくするとソリに慣れ、友だちと一緒に滑ったり距離を長くしてみたり。雪遊びを満喫していました。

